

美里町財政健全化計画の取組状況について

平成19年6月に策定した財政健全化計画の取組状況について、お知らせいたします。

1. 財政指標等について（単位：％）

指標等の名称	健全化計画実施後（目標値）	平成19年度決算数値	健全エリア数値
経常収支比率	92.0	92.0	75%未満
起債制限比率	9.8	9.5	10%未満
実質公債費比率	17.8	16.5	18%未満
将来債務比率	目標値の設定なし	236.1	150%未満
町税の収納率	89.2	88.3	

2. 健全化計画実施後（目標値）と平成19年度決算の比較

財政健全化計画は普通会計（一般会計及び土地開発事業特別会計を合わせたもの）について、策定しております。

健全化計画実施後（目標値）と平成19年度決算（平成18年度からの繰越分を除く。）を比較してみますと別表のようになります。

歳入については、主に地方税、地方交付税、国庫支出金が目標値に達せず、繰入金が目標値を超え、歳入全体では目標値と比較して1億1,349万円の歳入不足となりました。

歳出については、主に人件費、物件費、補助費、公債費が目標値を達成しましたが、維持補修費及び繰出金が目標値を超え、歳出全体では目標値と比較して2億4,451万円の減となりました。

「決算と目標値との比較（別表中区分の欄③）」における形式的な投資余力（歳入総額－歳出総額）は、1億3,102万円のプラスであります。実質的な投資余力〔（歳入総額－繰入金）－（歳出総額－積立金）〕は、6,520万円のマイナスとなることからまだまだ努力が足りません。

歳入については、①地方税の収納を目標値どおり達成すること、②各種基金からの繰入金を減らすこと、③地方債の発行を抑制すること、また歳出については①人件費、物件費等の経常的経費を増やさないこと、②特別会計（公営企業会計を含む。）への繰出金を減らすこと、③建設事業費については新規事業を抑制すること、が課題であります。

(別表) 財政健全化計画と平成19年度決算(平成18年度からの繰越分を除く。)の比較(単位:千円)

区 分		平成19年度 財政推計	財政健全化計画 実施後(目標値) ①	平成19年度決算 (繰越分を除く。) ②	決算と目標値 との比較 ③(②-①)
歳入	1. 地方税	2,488,446	2,566,446	2,500,506	△ 65,940
	2. 地方譲与税・交付金	587,971	587,971	570,392	△ 17,579
	3. 地方交付税	3,566,966	3,566,966	3,458,302	△ 108,664
	4. 分担金・負担金	50,714	50,714	18,072	△ 32,642
	5. 使用料・手数料	154,057	156,057	190,215	34,158
	6. 国庫支出金	449,244	449,244	366,395	△ 82,849
	7. 県支出金	436,907	436,907	430,438	△ 6,469
	8. 財産収入・寄附金	10,763	11,763	20,658	8,895
	9. 繰入金	0	103,000	353,601	250,601
	10. 諸収入	125,857	125,857	131,704	5,847
	11. 繰越金	0	0	84,649	84,649
	12. 地方債	1,118,800	1,118,800	935,300	△ 183,500
	うち臨時財政対策債	335,700	335,700	338,000	2,300
うち合併特例債	652,300	652,300	688,200	35,900	
歳入総額(A)		8,989,725	9,173,725	9,060,232	△ 113,493
歳出	1. 人件費	2,359,208	2,359,208	2,211,281	△ 147,927
	2. 物件費	1,134,989	1,134,989	1,009,389	△ 125,600
	3. 維持補修費	30,173	30,173	100,022	69,849
	4. 扶助費	513,700	513,700	553,764	40,064
	5. 補助費等	1,262,037	1,262,037	1,190,131	△ 71,906
	6. 公債費	1,356,207	1,356,207	1,234,485	△ 121,722
	7. 積立金	0	0	54,386	54,386
	8. 投資・出資・貸付金	109,218	109,218	107,203	△ 2,015
	9. 繰出金	1,343,158	1,343,158	1,378,371	35,213
	10. 建設事業費	1,064,882	1,064,882	1,090,026	25,144
歳出総額(B)		9,173,572	9,173,572	8,929,058	△ 244,514
投資余力(C)=(A)-(B)		△ 183,847	153	131,174	131,021

※ 歳入の「△」は、目標値を達成できなかったものです。
ただし、地方債は借入金であるため「△」となったほうがよいわけで、
プラスとなっているのは目標値より借入れが多かったことを表しています。
歳出の「△」は目標値を達成したもので、プラスとなっているものは、目標値を達成できなかったものです。